

平成24年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		児童青少年センター・児童館の維持管理		款	4	項	2	目	2	事業	2	整理番号	295	
担当部課名		保健福祉部児童青少年課		係名	管理係		連絡先電話番号	4402		昨年度整理番号	302			
(平成23年度担当部課名)		保健福祉部児童青少年課		予算事業区分				既定事業						
事業開始		昭和	▼	41	年度		<input type="checkbox"/> 主要事業							
事務事業の概要	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input checked="" type="checkbox"/> 団体	<input checked="" type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	根拠法令等 (1) 児童福祉法第1～4、7、35、40、45条 (2) 杉並区立児童青少年センター及び児童館条例、同施行規則						
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		○適切な維持管理等により安全かつ快適に利用できる施設とします。					活動指標名(式)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		○施設維持管理における契約事務、履行確認、支払事務 ○施設運営における事務用物品等経費の執行事務					成果指標 ※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 一日あたり平均利用者数 算定式・指標の説明等 利用者数÷開館日数×100 成果指標名(2) 年間修繕件数 算定式・指標の説明等 センター及び児童館						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		○施設維持管理における契約事務、履行確認、支払事務 ○施設運営における事務用物品等経費の執行事務					活動指標名(式) (1) 年間延べ利用者数(センター及び児童館) (2) 開館日数(センター及び児童館)						
区分		単位	21年度		22年度		23年度		24年度		計画(目標値)に対する23年度の達成率 %			
			実績		計画		実績		計画(目標値)		実績		計画	
指標	活動指標(1)		①	人	1,200,763	1,420,000	1,296,877	1,400,000	1,375,024	1,400,000	98.2			
	活動指標(2)		②	日	13,148	13,917	13,114	13,917	13,768	13,917	98.9			
	成果指標(1)		③	人	91	105	99	105	100	105	95.2			
	成果指標(2)		④	件	285	490	727	650	321	650	49.4			
総事業費・コスト把握	事業費		⑤	千円	264,380	278,978	271,802	280,234	261,189	286,402	23年度予算執行率% 93.2			
	(内)投資的経費等		⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項			
	(内)委託費		⑦	千円	148,539	162,697	156,216	164,413	150,268	167,818				
	職員数(常勤 非常勤)		⑧	人	26.23 4.20	25.35 4.20	26.09 4.20	25.35 4.20	25.12 4.70	24.40 4.70				
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)		⑨	千円	232,896	226,122	232,723	225,615	223,568				217,160
		(内)非常勤職員分		⑩	千円	11,731	12,390	12,390	12,936	14,476				14,476
	総事業費⑤+⑨+⑩		⑪	千円	509,007	517,490	516,915	518,785	499,233	518,038				
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①		⑫	円	424	364	399	371	363	370				
	財源	受益者負担分		⑬	千円	4,953	5,043	4,788	5,770	5,196				4,979
		国からの補助金等		⑭	千円	0	0	0	0	0				0
都からの補助金等		⑮	千円	0	0	0	0	0	0					
その他の補助金等		⑯	千円	0	0	0	0	0	0					
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	4,953	5,043	4,788	5,770	5,196	4,979					
差引:一般財源(⑰-⑬)		⑱	千円	504,054	512,447	512,127	513,015	494,037	513,059					
受益者負担比率⑬÷⑪		⑳	%	1.0	1.0	0.9	1.1	1.0	1.0					

平成24年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 295

23年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規 模	単 位	事業費(千円)
		施設保守管理委託	50	施設	141,168
		施設修繕費	50	施設	32,259
		光熱水費	50	施設	67,629
		その他（電話料・手数料・備品購入 ほか）			20,133
	(2) 事業実績	設備保守管理契約及び施設修繕や備品類の計画的な購入を行いました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	児童館設置数(各年12月31日現在) 昭和45年＝11館、昭和55年＝30館、平成2年＝40館、平成12年～41館 児童青少年センターは、平成9年に全国に先駆け中高生のための児童館として竣工し、児童健全育成の拠点として事業を展開し、区民からも認知されています。 年少人口(0～14歳)は、児童館が30館となった30年前と比較して、現在約5万人と約半数に減少しています。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	センターは事業開始時から関係機関・マスメディアからの視察、問合せが相次いでおり、各方面から注目されています。児童館は設置から30年以上経過しているものもあり、外壁の汚れ、屋上防水の劣化による漏水、床材や内壁の剥離、設備面では排水管の詰まりによる悪臭、冷房設備の不足といった不具合が生じており、それらに対する苦情・指摘等を受けています。また、乳幼児や障害児の利用しやすい環境整備も求められています。
	今後の予測	施設の経年劣化による修繕や学童クラブ需要増への対応など、施設の保全・整備を図り、安全・安心に児童館が利用できるようにしました。児童館は昭和40年代に建築したものが20館、50年代が15館と、施設の老朽化が進んでおり、今後、抜本的に建替や大規模修繕が求められています。区民ニーズの変化に対応した切れ目のない子育てサービスを提供するため、施策の選択・集中による施設の計画的な保全・整備と施設環境の質的向上という観点から、現行の児童館の施設配置・サービスの見直しを図る必要があります。
	評価と課題	施設の経年劣化による修繕や学童クラブ需要増への対応など、施設の保全・整備を図り、安全・安心に児童館が利用できるようにしました。児童館は昭和40年代に建築したものが20館、50年代が15館と、施設の老朽化が進んでおり、今後、抜本的に建替や大規模修繕が求められています。区民ニーズの変化に対応した切れ目のない子育てサービスを提供するため、区立施設の再編・整備の計画に合わせて児童館施設のあり方を検討する必要があります。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充	● 現状維持	○ 縮 小	○ 廃 止
		II 事業の改善	○ 事業内容の変更	● 実施方法の変更		
		児童館は、小学生を主たる利用の対象として建設しており、障害児や乳幼児、中・高校生が利用しにくい施設構造となっています。また、近年の学童クラブ需要の急増により、過密な利用環境となっています。区立施設の再編・整備の計画に合わせて、安心して子どもを生き育てることができるよう、乳児期から青年期まで切れ目なく支えるための枠組みに的確に対応した施設のあり方を検討していきます。				

特記事項	
------	--

平成24年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名	子ども家庭支援センターの維持管理			款	4	項	2	目	2	事業	3	整理番号	296	
担当部課名	保健福祉部子育て支援課			係名	子ども家庭支援係			連絡先電話番号	4400			昨年度整理番号	303	
(平成23年度担当部課名)				保健福祉部子育て支援課						予算事業区分	既定事業			
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	18	年度									<input type="checkbox"/> 主要事業
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 子ども家庭支援センターの維持管理			根拠 (1) 法令等 (2)									
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○適切な維持管理等により安全かつ快適に利用できる施設とします。 ○階から4階までの4施設が併存する施設として、災害時の適切な対応を連携して行います。			活動指標名(式) (1) 年間清掃日数(保守員常駐日数) (2)									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○子ども家庭支援センターの施設の維持管理を委託する。			成果指標 ※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等									
区分		単位	21年度		22年度		23年度				24年度	計画(目標値)に対する23年度の達成率 %		
			実績		計画	実績		計画(目標値)		実績	計画			
指標	活動指標(1)	①	日	345	345	345	346	346	346	346	100.0			
	活動指標(2)	②												
	成果指標(1)	③												
	成果指標(2)	④												
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	5,119	6,019	5,447	5,926	5,383	7,225	23年度予算執行率% 90.8				
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項				
	(内)委託費	⑦	千円	3,864	4,351	4,064	4,338	4,002	5,658					
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	0.20 0.00	0.20 0.00	0.20 0.00	0.20 0.00	0.20 0.00	0.20 0.00			0.20 0.00		
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	1,776	1,784	1,784	1,780	1,780			1,780		
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0			616		
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	6,895	7,803	7,231	7,706	7,163	9,621					
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	19,986	22,617	20,959	22,272	20,702	27,806					
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0			0		
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0			0		
都からの補助金等		⑮	千円	0	0	0	0	0	0					
その他の補助金等		⑯	千円	0	0	0	0	0	0					
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	0	0	0	0	0	0					
差引:一般財源(⑪-⑰)		⑱	千円	6,895	7,803	7,231	7,706	7,163	9,621					
受益者負担比率⑬÷⑪		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						

平成24年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 296

23年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規 模	単 位	事業費(千円)
		清掃等委託費			
		その他 ()			0
	(2) 事業実績	子ども家庭支援センターが入っている建物の維持管理を、事業者に委託して行いました。平成23年度末現在、1階は子ども家庭支援センター、2階は阿佐谷南児童館、3階は私立保育園、4階は阿佐谷南学童クラブ(業務委託)です。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	建物本体が古いため、劣化、損傷が所々に見られます。23年度の私立保育園開所(3階)に伴い、約40年間使用したエレベータは新規リニューアルしています。3階については、ここ数年間に「なでしこ生活園」「高円寺保健センター」「私立保育園」と区施設の入れ替わりが頻繁にありました。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	住宅や店舗に隣接した場所にあるため、子どもが多く利用する施設として音等に配慮しながら運営する必要があります。災害発生時に各施設間で連携して利用者を安全に避難誘導できるように、計画的な避難訓練をします。引火や窒息の危険性のある重油とフロンを冷暖房に使用している施設でもあり、施設利用者のみならず周辺住民の安全な誘導も視野に入れて対応します。
	今後の予測	施設本体の老朽化はすすむ一方で、修理・交換が望ましい箇所が現在も多くあります(トイレの水洗不良等)。施設の状態の的確な把握と、委託契約課の児童青少年課や営繕課との連携による対応が求められます。
	評価と課題	駅や本庁から近く、区民にとっては利用しやすい場所にあります。児童館、保育園、学童クラブの利用で、乳幼児、児童、保護者等の来館が多くあります。 老朽化への対応をしながら、利用者の安全確保に努めていくには、各階施設の情報交換と共有が不可欠です。各施設の開館時間が異なるため、毎日の施錠確認も慎重に行います。全館の避難訓練も定期的に行います。非常時に引火や窒息の危険性のある物質である重油とフロンの使用施設であることは、施設管理上、常に不安であり、建て替えも含めた対応を求めます。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	<input type="radio"/> 拡 充	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 縮 小	<input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input type="radio"/> 事業内容の変更	<input checked="" type="radio"/> 実施方法の変更		
	<p>現在、子ども家庭支援センターは施設の現場での統括担当です。各施設間の連絡を密にし、定期的に施設管理に関する連絡会を開催します。特に、3階の私立保育園と4階の学童クラブの委託先である社会福祉法人とは、情報伝達・共有を確実にしています。</p> <p>子ども家庭支援センターの業務上、常に事務所内で個人情報のやり取り、書類の作成があります。窓口に来た区民との間には壁等がなく、個人情報が漏れ聞こえないように常に意識しています。また、個人情報が施設の外に漏れないように事務室の窓を開けることにも制限があり、業務内容に適した職場環境とは言えない面があるので、施設運営の工夫・改善が求められます。</p>					

特記事項	
------	--

平成24年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 297

23年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		阿佐谷南保育園耐震工事調査・設計	1	所	4,000
		阿佐谷南保育園耐震工事	1	所	6,100
		その他（耐震工事にかかる樹木の移植）			417
	(2) 事業実績	阿佐谷南保育園の耐震改修について、実施設計を行い、24年3月に工事を竣工しました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	20年3月に策定した耐震改修促進計画に基づき区立施設の耐震診断を実施し、診断結果を基に計画的に耐震化整備を行っています。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	阿佐谷南保育園は、耐震工事による0歳児室の撤去に対し、保護者から0歳児室の再設置等の要望がありました。近隣に0歳児からの保育室を整備することや構造上の課題等について説明をし、保護者の理解をいただきました。
	今後の予測	杉並区耐震改修促進計画に基づく区立施設の耐震化整備プログラムにより、耐震化整備を進めていきます。
	評価と課題	耐震改修計画に基づいて耐震化の整備を進めます。 都営住宅との合築施設においては、東京都と協議を行う必要があります。 また、耐震改修の実施にあたっては、保育の継続に配慮する必要があります。

改善・見直しの方向（中長期）	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業の方向性	<input type="radio"/> 拡 充	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 縮 小	<input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input type="radio"/> 事業内容の変更	<input type="radio"/> 実施方法の変更		
		杉並区耐震改修促進計画に基づき、保育園の耐震改修を進めていきます。 都営住宅との合築施設については、東京都との協議を進め、早期に耐震改修を図ります。				

特記事項	
------	--

平成24年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 298

23年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		仮設建物の賃借	1	所	21,068
	改修工事	1	所	22,322	
	工事監理 建物管理	1	所	434	
	備品等の購入			689	
	その他 ()			0	
	(2) 事業実績	改修工事は平成23年3月15日に着工し、平成24年4月28日に竣工しました。完成後、ひととき保育高井戸も仮設建物から改修後の建物に引越しを行い、平成24年5月7日より運営を行っています。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	改修対象の建物は平成58年4月1日に開設され、それ以来、建物内の各施設は地域の多くの住民にとって、コミュニティ推進、福祉・健康の向上に無くてはならないものとなっています。			
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	地域代表、利用者代表及び区職員で構成する改修連絡会で意見交換を行うとともに、平成22年4月には改修基本設計説明会を実施し、地域代表等から出された意見要望を検討のうえ、実施設計に反映させるよう努力しました。 平成22年9月には工事期間中の代替施設となる仮設建物の工事説明会、平成23年3月には改修工事説明会を行い、工事の内容について説明するとともに、ご質問等にお答えし、近隣住民及び利用者の理解に努めました。			
	今後の予測	平成24年度に当該施設竣工のため、本事業は終了となります。			
	評価と課題	改修工事等は計画通りに進行し、平成24年度の竣工を迎えます。			

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	<input type="radio"/> 拡 充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input checked="" type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input type="radio"/> 事業内容の変更 <input type="radio"/> 実施方法の変更
	平成24年度に改修工事は終了します。		

特記事項	
------	--

平成24年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		杉並区保育室の整備			款	4	項	2	目	3	事業	14	整理番号	299	
担当部課名		保健福祉部保育課			係名	保育施設計画			連絡先電話番号	1388		昨年度整理番号	307		
(平成23年度担当部課名)		保健福祉部保育課			予算事業区分			投資事業							
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	20	年度	<input checked="" type="checkbox"/> 主要事業									
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理			根拠法令等	(1) 杉並区保育室事業実施要綱 (2)									
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○区保育室を整備することにより待機児の解消を図ります。			活動指標名(式)	(1) 区保育室数 (2)									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○23年度中に旧若杉小学校跡を活用し、区保育室を整備する。			成果指標	※(代)=適当な指標がない場合の代替指標									
	成果指標名(1)	定員増を図れた人数(区保育室定員数)			算定式・指標の説明等										
	成果指標名(2)				算定式・指標の説明等										
区分		単位	21年度		22年度		23年度				24年度計画	計画(目標値)に対する23年度の達成率 %			
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績								
指標	活動指標(1)	①	所	8	13	13	17	17			100.0				
	活動指標(2)	②													
	成果指標(1)	③	人	167	349	363	529	529			100.0				
	成果指標(2)	④													
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	180,296	42,008	39,013	50,840	50,427			23年度予算執行率% 99.2				
	(内)投資的経費等	⑥	千円	180,296	0	0					特記事項				
	(内)委託費	⑦	千円	155,485	40,626	38,232	42,995	42,630							
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	1.50 0.00	0.60 0.00	0.40 0.00	1.20 0.30	1.41 0.50							
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	13,319	5,352	3,568	10,680	12,549	0					
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	924	1,540	0					
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	193,615	47,360	42,581	62,444	64,516	0						
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	1,664,875	3,643,077	3,275,462	3,673,176	3,795,059							
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0								
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0								
		都からの補助金等	⑮	千円	109,800	0	0								
その他の補助金等		⑯	千円	0	0	0									
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	109,800	0	0	0	0	0						
差引:一般財源(⑰-⑬)		⑱	千円	83,815	47,360	42,581	62,444	64,516	0						
受益者負担比率⑬÷⑪		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

平成24年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 299

23年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		新設工事	1	所	43,946
	備品購入	1	所	6,481	
	その他 ()				0
	(2) 事業実績	増加する保育需要に対応するため、緊急対策として区施設や商業店舗等の空きスペースを活用して、直営型保育室1所(50人)、委託型保育室(116人)を整備しました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	低迷する経済状況の影響により保育需要が急増したことから、区では待機児童を解消するための緊急対策として、区保育室を設置することとし、21年度中に8所、22年度中に5所、23年度中に4所開設しました。区保育室の設置基準は認可保育園の基準を準用しており、良好な保育環境を確保しています。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	保育園入所待機児童のための緊急対策として短期間で希望者を入所させることができたため好評でした。
	今後の予測	今後も保育需要は増加する見込みですが、他の保育施設の整備等により対応していきます。
	評価と課題	区保育室は、23年度までに17施設(529人)を整備しました。今後は、保育の需要を考慮しつつ、暫定施設である区保育室のあり方を検討する必要があります。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	<input type="radio"/> 拡 充	<input type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 縮 小	<input checked="" type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input checked="" type="radio"/> 事業内容の変更	<input type="radio"/> 実施方法の変更		
	<p>保育室は、待機児解消対策として5年程度の暫定施設として、20年度から検討を行い、21年度から23年度にかけて17施設(直営型7所、委託型10所)を整備しました。</p> <p>初期施設は、今年度で4年目を迎えることから、今後の保育園のあり方についての検討が急務となっています。検討にあたっては、認可保育園等への移行や区施設の有効活用による再配置など総合的な視点に立って進めていきます。</p>					

特記事項	
------	--

平成24年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名	民間母子生活支援施設の建設助成						款	4	項	2	目	3	事業	18	整理番号	300	
担当部課名	保健福祉部子育て支援課						係名	計画推進担当			連絡先電話番号	1363		昨年度整理番号	309		
(平成23年度担当部課名)											保健福祉部子育て支援課			予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	22	年度												<input type="checkbox"/> 主要事業
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理 配偶者のいない女性又はこれに準ずる事情の女性で生活上の問題を抱えているため18歳未満の児童を十分養育できない母親と児童			根拠法令等	(1) 児童福祉法第23条、51条、53条、55条、56条 (2) 杉並区児童福祉法施行細則第9条、10条、11条											
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○母親と児童の生活の場を確保し、安定した生活を保障することにより、退所しても自立した生活ができるようにします。			活動指標名(式)	(1) 入所世帯数(年度当初実数+年度途中入所実数) (2) 入所人数(年度当初実数+年度途中入所実数)											
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○生活に困窮し、児童を十分に養育できない母親と児童を入所させ保護する母子生活支援施設を運営する社会福祉法人に対し、老朽化した施設の改築工事費の助成を行う。			成果指標	※(代)＝適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 工事出来高 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等											
区分		単位	21年度		22年度		23年度				24年度	計画(目標値)に対する23年度の達成率 %					
			実績		計画	実績	計画(目標値)		実績	計画							
指標	活動指標(1)	①	世帯		39	33	39	28	30	71.8							
	活動指標(2)	②	人		100	79	100	69	77	69.0							
	成果指標(1)	③	%		21	9	56	56	35	100.0							
	成果指標(2)	④															
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	0	6,658	2,853	22,193	17,754	11,097	23年度予算執行率% 80.0							
	(内) 投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 国・都からの補助金の交付内示の遅れから、工事着手が送られ、3か年にわたる工期の出来高を変更しました。 22年度21%→9% 23年度58%→56% 24年度21%→35%							
	(内) 委託費	⑦	千円	0	0	0	0	0	0								
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	0.00 0.00	0.40 0.00	0.20 0.00	0.40 0.00	0.20 0.00	0.40 0.00								
	人件費	⑨	千円	0	3,568	1,784	3,560	1,780	3,560								
	(内) 非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0	0								
	総事業費(⑤+⑨+⑩)	⑪	千円	0	10,226	4,637	25,753	19,534	14,657								
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円		262,205	140,515	660,333	697,643	488,567								
	財源	⑬	千円	0	0	0	0	0	0								
	受益者負担分	⑭	千円	0	0	0	0	0	0								
国からの補助金等	⑮	千円	0	0	0	0	0	0									
都からの補助金等	⑯	千円	0	0	0	0	0	0									
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)	⑰	千円	0	0	0	0	0	0									
差引: 一般財源(⑪-⑰)	⑱	千円	0	10,226	4,637	25,753	19,534	14,657									
受益者負担比率(⑬÷⑱)	⑲	%		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0									

平成24年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 300

23年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		杉並区母子生活支援施設整備費補助	1	所	17,754
		その他 ()			0
	(2) 事業実績	この事業は平成25年2月竣工に向け、平成22年度より3か年計画で実施します。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	事業内容
		母子世帯の経済的理由による入居者が増加しています。厚生労働省からこの施設での緊急一時保護の広域措置実施に関する通達が出され、また、母子世帯自立支援及び子育て支援の場としての重要性も増しています。施設は建築後48年が経過しています。老朽化がひどく、耐震診断でも大地震発生時に倒壊の危険性を指摘されています。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	母子家庭の収入に応じた定額家賃の住居確保が困難なため、生活の建て直しや安定した育児環境維持のために、母子生活支援施設をさらに充実させて欲しいという要望があります。施設の改築により、施設設備の充実が図られ、利用者の安全確保と生活環境の改善とともにより良好な子育て環境が確保できると期待されています。
	今後の予測	今後、離婚やDVによる被害者の増加により、母子生活支援施設の需要が高まることも予想されていますが、入所者のニーズや生活スタイルの変化等の実態を把握しながら、区全体の入所定員の見直しや、区内他施設の現状を把握し、施設整備への助成対応の検討が必要とされます。
	評価と課題	23年度の改築工事は、工期を2期に分けて、10世帯分を確保しながら工事を進め、予定していた工事出来高に達しました。、工事期間中も、区内の他の母子生活支援施設と合わせ、利用可能定員を常時30名とし、利用者が制限を受けまいよう配慮しました。今後は、改築に伴い新たに整備される「緊急一時保護室」について、関係機関及び施設と協議し、その運営方法等を検討します。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充	○ 現 状 維 持	○ 縮 小	● 廃 止
			II 事業の改善	● 事業内容の変更		○ 実施方法の変更
	平成25年2月の竣工を予定しており、24年度をもって、この事業は廃止となります。なお、区内にある他の民間母子生活支援施設からの改築に関する相談、要望があった場合には、関係機関と必要な調整を図り、対応していきます。					

特記事項	
------	--

平成24年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		保育施設建設助成		款	4	項	2	目	3	事業	19	整理番号	301
担当部課名		保健福祉部保育課		係名	管理係			連絡先電話番号	1372		昨年度整理番号	310	
(平成23年度担当部課名)		保健福祉部保育課		予算事業区分				既定事業					
事業開始		平成	▼	21	年度				<input type="checkbox"/> 主要事業				
事務事業の概要	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠 (1) 杉並区私立保育所施設整備補助金交付要綱 児童福祉法第35条第4項の規程に基づく認可保育所を設置運営する事業者 等 (2)								
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		○保育所運営の安定及び入所児童の安全で快適な保育を確保します。		活動指標名(式) (1) 補助金交付件数 (2)								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		○私立保育所の施設を整備するために要する経費の一部を補助する。		成果指標 ※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) (代)補助金交付件数 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等								
	区分		単位	21年度		22年度		23年度		24年度		計画(目標値)に対する23年度の達成率 %	
			実績		計画		実績		計画(目標値)		実績		
指標	活動指標(1)		①	件	1	1	3	1	2	1	200.0		
	活動指標(2)		②										
	成果指標(1)		③	件	1	1	3	1	2	1	200.0		
	成果指標(2)		④										
総事業費・コスト把握	事業費		⑤	千円	9,924	137,726	136,357	80,892	80,856	128,811	23年度予算執行率% 100.0		
	(内)投資的経費等		⑥	千円	9,924	137,726	136,357	80,892	80,856	128,811	特記事項 23年度は建替事業1所、改修事業1所に対し助成しました。 建替事業1所は22~24年度の3か年工事で25年2月工事完了予定。23年度は工事出来高実績(36%)に対し助成をしました。残りは24年度(40%)に助成する予定です。国からの補助金等の金額は、都が国からの「子育て支援対策特例交付金」により設置した「安心こども基金」による都の補助金額です。		
	(内)委託費		⑦	千円	0	0	0	0	0	0			
	職員数(常勤 非常勤)		⑧	人	0.10 0.00	0.20 0.00	0.20 0.00	0.20 0.00	0.20 0.00	0.20 0.00			
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	888	1,784	1,784	1,780	1,780	1,780			
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0	0			
	総事業費⑤+⑨+⑩		⑪	千円	10,812	139,510	138,141	82,672	82,636	130,591			
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①		⑫	円	888,000	1,784,000	594,667	1,780,000	890,000	1,780,000			
	財源	受益者負担分		⑬	千円	0	0	0	0	0			0
		国からの補助金等		⑭	千円	5,671	85,824	63,931	44,184	46,203			73,605
都からの補助金等		⑮	千円	1,417	17,531	46,376	11,046	23,100	18,401				
その他の補助金等		⑯	千円	0	0	0	0	0	0				
特定財源計⑬+⑭+⑮+⑯		⑰	千円	7,088	103,355	110,307	55,230	69,303	92,006				
差引:一般財源⑰-⑬		⑱	千円	3,724	36,155	27,834	27,442	13,333	38,585				
受益者負担比率⑬÷⑪		⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				

平成24年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		久我山学童クラブの改修		款	4	項	2	目	3	事業	22	整理番号	302			
担当部課名		保健福祉部児童青少年課		係名	管理係			連絡先電話番号	4402			昨年度整理番号				
(平成23年度担当部課名)		保健福祉部児童青少年課					予算事業区分	投資事業 新規事業								
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	24	年度											<input type="checkbox"/> 主要事業
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理			施設管理	根拠法令等	(1) 児童福祉法第45条 (2) 杉並区立児童青少年センター及び児童館条例									
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○入会需要の増加に対応するため、定員増を図ります。			活動指標名(式)	(1) 学童クラブ改修 (2)										
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○学童クラブ施設の移設及び移設後の運営主体の民間委託に伴う事務用品、物品などの購入・支払い事務を行う。			成果指標	※(代)=適当な指標がない場合の代替指標										
	成果指標名(1)	学童クラブ受入枠の増減			算定式・指標の説明等	(新定員-旧定員)										
	成果指標名(2)				算定式・指標の説明等											
区分		単位	21年度		22年度		23年度				24年度		計画(目標値)に対する23年度の達成率 %			
			実績		計画		実績		計画(目標値)		実績					
指標	活動指標(1)	①														
	活動指標(2)	②														
	成果指標(1)	③														
	成果指標(2)	④														
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円						38,550	37,103			23年度予算執行率% 96.2			
	(内)投資的経費等	⑥	千円						36,000	34,755			特記事項			
	(内)委託費	⑦	千円						36,000	34,755						
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人						0.08	0.00	0.08	0.00				
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	0	0	0	0	712	712	0	0				
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0	0	0	0				
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	0	0	0	0	39,262	37,815	0	0					
	単位あたりコスト	⑫	円													
	財源	受益者負担分	⑬	千円												
		国からの補助金等	⑭	千円												
		都からの補助金等	⑮	千円												
		その他の補助金等	⑯	千円												
特定財源計		⑰	千円	0	0	0	0	0	0	0	0					
差引:一般財源		⑱	千円	0	0	0	0	39,262	37,815	0	0					
受益者負担比率		⑲	%					0.0	0.0							

平成24年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 302

23年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		久我山学童クラブの整備	1	施設	34,755
		その他 ()			2,348
	(2) 事業実績	久我山小学校内の学童クラブを整備しました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	学童クラブの需要は、この10年間に急増し、学童クラブの対象となる児童数そのものはほぼ横ばい状況にある中、学童クラブの登録児童数は約1.5倍(2,000人→3,000人)になっています。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	学校の余裕教室をそのまま学童クラブとして転用し運営を行っていたが、近年の学童クラブの需要増等に伴い登録児童も増えてきたため育成環境が悪化しており、改修が求められていました。
	今後の予測	母親の就労ニーズの高まりや、昨今の景気動向を反映しての未就学児の保育需要に見られるように、学童クラブ需要は今後も増加するものと予測しており、久我山学童クラブについては90～100人程度の需要があると見込んでいます。
	評価と課題	学校の余裕教室を学童クラブ室として改修・整備をしたことにより、より良い育成環境を整えることが出来ました。また、今回の改修で定員増が図られ、入会需要に応えることができました。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	<input type="radio"/> 拡 充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input checked="" type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input checked="" type="radio"/> 事業内容の変更 <input type="radio"/> 実施方法の変更
	平成24年4月1日に開設するため、施設整備を行いました。		

特記事項	
------	--

平成24年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		和泉北学童クラブの整備		款	4	項	2	目	3	事業	23	整理番号	303			
担当部課名		保健福祉部児童青少年課		係名	管理係			連絡先電話番号	4402			昨年度整理番号				
(平成23年度担当部課名)		保健福祉部児童青少年課						予算事業区分	投資事業 新規事業							
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	23	年度											<input type="checkbox"/> 主要事業
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 施設管理			根拠法令等	(1) 児童福祉法第45条 (2) 杉並区児童青少年センター及び児童館条例										
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○入会需要の増加に対応し、定員増を図るため、施設の移転のための改修工事を行います。			活動指標名(式)	(1) 学童クラブ移設 (2)										
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○学童クラブ施設の移設及び移設後の運営主体の民間委託に伴う事務用品、物品などの購入・支払い事務を行う。			成果指標	※(代)=適当な指標がない場合の代替指標										
	成果指標名(1)	学童クラブ受入枠の増減														
	算定式・指標の説明等	(新定員-旧定員)														
	成果指標名(2)															
	算定式・指標の説明等															
区分		単位	21年度		22年度		23年度				24年度		計画(目標値)に対する23年度の達成率 %			
			実績	計画	実績	計画(目標値)		実績		計画						
指標	活動指標(1)	①	人				1	1					100.0			
	活動指標(2)	②														
	成果指標(1)	③	人				15	15					100.0			
	成果指標(2)	④														
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円				21,800	21,542					23年度予算執行率% 98.8			
	(内)投資的経費等	⑥	千円										特記事項			
	(内)委託費	⑦	千円				20,000	19,944								
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人				0.08	0.00	0.08	0.00						
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	0	0	0	712	712			0				
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0			0				
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	0	0	0	22,512	22,254			0					
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円				22,512,000	22,254,000								
	財源	受益者負担分	⑬	千円												
		国からの補助金等	⑭	千円												
		都からの補助金等	⑮	千円												
		その他の補助金等	⑯	千円												
		特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)	⑰	千円	0	0	0	0	0			0				
差引:一般財源(⑰-⑬)		⑱	千円	0	0	0	22,512	22,254			0					
受益者負担比率⑬÷⑪		%				0.0	0.0									

平成24年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 303

23年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		和泉北学童クラブの整備(移転及び改修)	1	施設	21,542
		その他 ()			0
(2) 事業実績	大宮小学校内の余裕教室に移転し、15名の定員増を図った。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	学童クラブの需要は、この10年間に急増し、学童クラブの対象となる児童数そのものはほぼ横ばい状況にある中、学童クラブの登録児童数は約1.5倍(2,000人→3,000人)になっています。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	近年の学童クラブ需要増や児童を脅かす事件の多発などを背景に、安全・安心な放課後の居場所としての学童クラブづくりが求められています。その中で、単独で設置されていた和泉北学童クラブは、学校内に移転し、児童のより安全・安心な育成環境が求められていました。
	今後の予測	母親の就労ニーズの高まりや、昨今の景気動向を反映しての未就学児の保育需要に見られるように、学童クラブ需要は今後も増加するものと予測しており、大宮小学童クラブについては60人程度の需要があると見込んでいます。
評価と課題		学校内に学童を移設することで、より安心して利用できる学童クラブにするとともに、定員増を図ることにより需要増に対応することが可能となりました。

改善・見直しの方向 (中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業の方向性	<input type="radio"/> 拡 充	<input type="radio"/> 現 状 維 持	<input type="radio"/> 縮 小	<input checked="" type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input checked="" type="radio"/> 事業内容の変更		<input type="radio"/> 実施方法の変更	
平成24年4月1日に開設するための施設整備を行ったため、施設整備については終了いたしました。						

特記事項	
------	--

平成24年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		保育施設の整備		款	4	項	2	目	3	事業	24	整理番号	304		
担当部課名		保健福祉部保育課		係名	保育施設計画			連絡先電話番号	1388		昨年度整理番号				
(平成23年度担当部課名)		保健福祉部保育課					予算事業区分	投資事業 新規事業							
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	23	年度	<input type="checkbox"/> 主要事業									
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理			根拠法令等	(1) 児童福祉法第39条 (2) 家庭福祉員グループ制度要綱									
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	保育施設を整備し、待機児童の解消を図ります。			活動指標名(式)	(1) 工事出来高 (2) 購入用地数									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○用地を購入し、保育園を整備する。 ○区施設(方南会館)を改修し、家庭福祉員グループの施設を整備する。			成果指標	※(代)=適当な指標がない場合の代替指標									
	成果指標名(1)	施設整備による定員の増加数													
	算定式・指標の説明等														
	成果指標名(2)	購入用地面積(代)													
	算定式・指標の説明等														
区分		単位	21年度		22年度		23年度		24年度計画	計画(目標値)に対する23年度の達成率 %					
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績								
指標	活動指標(1)	①					100	100		100.0					
	活動指標(2)	②					1	1		100.0					
	成果指標(1)	③	人				9	9		100.0					
	成果指標(2)	④	m ²				2300	2300		100.0					
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円				854,774	853,572		23年度予算執行率% 99.9					
	(内)投資的経費等	⑥	千円							特記事項					
	(内)委託費	⑦	千円				15,261	14,113							
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人												
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	0	0	0	0	0			0			
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0			0			
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	0	0	0	854,774	853,572	0						
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円				8,547,740	8,535,720							
	財源	受益者負担分	⑬	千円											
		国からの補助金等	⑭	千円											
		都からの補助金等	⑮	千円											
その他の補助金等		⑯	千円												
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	0	0	0	0	0	0						
差引:一般財源(⑪-⑰)		⑱	千円	0	0	0	854,774	853,572	0						
受益者負担比率⑬÷⑪		%				0.0	0.0								

平成24年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 304

23年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規 模	単 位	事業費(千円)
		上高井戸二丁目用地取得費	2300	m ²	836,466
		上高井戸二丁目用地管理費用	1	式	803
		方南会館グループ保育室改修工事等	1	式	13,876
		その他 (グループ保育室初度備品等)			2,427
	(2) 事業実績	上高井戸二町目に認可保育園建設用地(高齢者施設を併設)を確保しました。保育園は、0歳児～就学前児童を受入れ定員100人程度の規模を想定しています。 また、乳児(0～2歳児)の待機児童解消のため、区施設の有効活用により家庭福祉員グループ施設(9人)を整備しました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	21年9月に策定された『保育に関する安全・安心プラン』に基づき、認可保育園及び高齢者施設の整備用地を確保し、施設整備・運営事業者を公募により選定しました。 また、方南会館2階を改修し、家庭福祉員グループ施設を整備しました。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	保育施設が少ない地域に家庭福祉員グループ施設を整備したことで、地域区民の利便性が向上し好評でした。 また、上高井戸二町目に保育園と高齢者施設の用地を確保したことで、地域住民には施設整備に対する期待が感じられます。
	今後の予測	保育需要は、今後も増加すると見込まれるため、引き続き待機児童解消に向けた対策が必要です。
	評価と課題	方南会館2階に整備した家庭福祉員グループは、24年4月に開設します。 また、上高井戸二町目に確保した用地には、25年7月に保育園と高齢者施設が開設する予定です。

改善・見直しの方向 (中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業の方向性	<input type="radio"/> 拡 充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input checked="" type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input type="radio"/> 事業内容の変更 <input type="radio"/> 実施方法の変更
		23年度に方南会館の改修工事は、完了しました。また、上高井戸二丁目の用地を購入したことで、事業は終了となります。 上高井戸二丁目用地での保育園及び高齢者施設の整備は、選定した事業者が行うこととなります。	

特記事項	
------	--